

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

東京2020オリ・パラキャンプ地として、柔道強豪国ジョージアが本市を視察

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地の候補にと、東ヨーロッパのジョージア柔道連盟の皆さんが7月10日、大牟田市を視察されました。ジョージアはメダル獲得の常連である柔道王国であり、同連盟の会長・ギオルギさんと前会長のダビドさんは、練習会場として大牟田高校の柔道場を視察。自身も柔道家であるダビドさんは、胴着に着替えて同校の選手と乱取りを楽しみながら、練習場として適しているなどを確認。その後、事前キャンプを大牟田市で行うための協議を進める確認書が交わされました。

二人は「大牟田はキャンプ地としては理想的な環境。オリンピックにとどまらず、子どもたちの交換プログラムを実施するなど、今後の友好関係も作っていきたい」と話しました。



港まつりで「いのちスケッチ」をPR

大蛇山まつりのスタートをきる港まつりが、7月13日から三川坑跡で開かれました。13日は瀬木監督が登壇。動物園の飼育員さんらと、映画の見どころや裏話などを紹介しました。ステージ上ではさまざまな催しが披露され、今年も盛況に終わりました。



大牟田北高校書道部が全国大会に初出場！



同校書道部は、書の美しさとパフォーマンスを競う「書道パフォーマンス甲子園」九州ブロック大会で、昨年の全国王者を抑え、見事1位通過で、全国大会出場を決めました。揃いの燕尾服に身を包み、8月に行われる全国大会での日本一を目指して、練習に励んでいます。



適切な処置で尊い命が救われました

駐車場に倒れていた女性を夢屋大牟田店の従業員が発見し、119番通報。従業員が協力して救急隊到着までの間、AED搬送、脈・呼吸観察をするなど適切な処置をしたことでの尊い命が救われました。皆さんの勇気ある行動を称え、消防長から感謝状が贈呈されました。

ママ・パパが救命救護を体験！

「こどもの救命救護」が7月13日、つどいの広場で行われました。夏はプールや海など水に触れる機会も増えることから、参加したママ・パパは人形を使った心肺蘇生法、AEDの使い方などを学びました。いざという時に備えて、皆さん真剣に取り組んでいました。

子どもたちが、世界遺産登録4周年を祝いました！



三池炭鉱関連資産の世界遺産登録4周年を記念して、駿馬小学校では記念集会が開かれ、大正小学校では児童たちが手作り新聞を作成し、大牟田駅で配布しました。



世界に目を向け、自分たちにできることを

JICA国際協力推進員の森川大毅さんが6月25日、倉永小学校で「国による文化の違いを知ろう」と、ワークショップを開催しました。4年生児童は、先進国の人間として、開発途上国に対してできることなどを考えました。

100年先の大牟田を見据えて

大牟田市の未来を議論する「大牟田未来会議」が6月29日、文化会館で開催されました。パネリストの皆さんからは、大牟田にはポテンシャルがあり、それらを生かしたまちづくりを進めるべきなどの意見が出ていました。